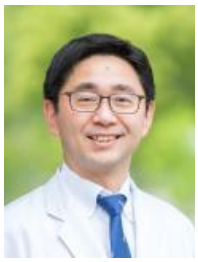
総合臨床研修センター

センターHP



１．スタッフ

センター長（教授）坂上（さかがみ）　拓郎（たくろう）
副センター長（特任教授・准教授）
吉田（よしだ）　素文（もとふみ）
吉田（よしだ）　直矢（なおや）
柿添（かきぞえ）　豊（ゆたか）
特任助教　尾池（おいけ）　史（ふみ）
事務職員４名、事務補佐員６名

２．センターの特徴

熊本大学病院が担う「優れた医療人育成」という社会的使命を果たす目的で、平成 14 年に正式設置された。医師、研修医、学生、メディカルスタッフを対象に卒前教育、卒後研修に加え、生涯学習も含めた臨床教育を支援し、中央診療棟の７階に種々のシミュレーター機器とカンファレンス室、演習室等を備えた臨床研修の複合施設として機能している。
令和６年度は、①卒前教育では、世界標準に向けた臨床実習の拡充を目指す我が国の方針を受け、医学生の臨床実習やシミュレーション教育実施の支援を行った。また、医学教育（卒前教育）の国際交流の進展、質の向上への取組み、研修医及び専攻医の増加対策の一つとして、ハンガリー国立大学医学部日本人学生の臨床実習を受入れるため、ハンガリー認定団（HAC, The Hungarian Accreditation Committee）による認定審査を令和７年３月 21 日に受審した。（認定結果は、令和７年 11 月頃判明予定。認定された場合は、令和８年７月以降、ハンガリー国立大学医学部生臨床実習の受入を開始予定。）
②本院のプログラム（初期研修・専門研修）で研修を希望する学業優秀な者の修学を支援するとともに、本院の診療・研究・教育体制の強化及び充実を図ることを目的として、熊本大学病院における医学部医学科学生に対する奨学金制度を創設し、支給を開始した。③卒後研修では、熊本大学病院群卒後臨床研修プログラムの魅力を伝えるために、公式 Instagram を開設する等の広報活動を強化した。また、研修指導医を対象に、臨床研修指導医講習会を開催し、県内の医師育成事業を支援した。④生涯学習では、生涯教育・研修医セミナーを定期的に開催し、研修医だけでなく日本医師会の生涯教育にも携わり、医療人の能力向上に努めた。
⑤令和５年度に設置した低侵襲医療トレーニングセンター及び遠隔診療トレーニングセンターにおいては、低侵襲医療及び遠隔診療に対応可能な人材育成のため医学部学生、研修医（院内、院外）及び地域医師を対象に最新のシミュレーターをそなえた講習会を実施し、受講者の知識及び技術向上に寄与した。

ロボット支援手術講習会

FoCUS 講習会

⑥総合臨床研修センター副センター長が統括責任者を務め、令和２年度より看護師の特定行為研修として「外科術後病棟管理領域パッケージ」を実施している。令和５年度からは「術中麻酔管理領域パッケージ」の研修を追加しており、院内外を問わず、高度で専門的な知識・技能を有する看護師を養成している。
⑦その他の院内の医療教育に携わり、看護師、薬剤師、メディカルスタッフ、職員等の教育施設として機能を発揮した。

３．研修体制

令和６年度熊本大学病院群の研修医数は 32 名【医科 25 名（１年次 13 名、２年次 12 名）、歯科７名（１年次６名、２年次１名）】であった。①医科研修プログラムは、自由設計コース及び小児科・産婦人科特化コース並びに総合診療・地域医療特化コースが用意され、研修医各人の希望に応じて選択することが可能となっている。
熊本大学病院各診療科に加え、熊本県内外の研修協力病院及び研修協力施設と密に連携することによって、様々な現場での幅広い研修を行い、医師としての適性と将来の選択肢を考えることが可能なプログラムとなっている。
②歯科研修プログラムは、単独型研修方式熊大２年コース（プログラムA）と、単独型研修方式熊大１年コース（プログラムB）を提供している。
③令和６年度における熊本大学の看護師特定行為研修では、「外科術後病棟管理領域パッケージ」の研修受講者は３名（うち院外２名）、「術中麻酔管理領域パッケージ」の研修受講者は３名（うち院外２名）であり、合計６名の修了者を輩出した。
また、令和５年９月以降、毎週水曜日を「特定行為の日」として病棟横断的に特定行為を実施しており、令和６年度の実施件数は 893 件となり、前年度と比較して２倍の実績となった。

４．活動実績

４月　研修医オリエンテーション
　　卒後臨床研修管理委員会
６月　第102回生涯教育・研修医セミナー
　　（全参加者数107人）
　　卒後臨床研修プログラム説明会
　　専門研修プログラム説明会
　　歯科プログラム説明会
７月　医科研修医選考試験
　　第103回生涯教育・研修医セミナー
　　（全参加者数102人）
８月　歯科研修医選考試験
９月　看護師特定行為研修の実技試験（OSCE）
　　第79回CPC（臨床病理検討会）
　　４年生向け説明会
10月　第104回生涯教育・研修医セミナー
　　（全参加者数105人）
　　ロボット手術トレーニング
11月　臨床研修指導医研修ワークショップ
12月　第105回生涯教育・研修医セミナー
　　（全参加者数72人）
　　採用予定者への病院説明会
　　血管造影シミュレータートレーニング
１月　第106回生涯教育・研修医セミナー
　　（全参加者数65人）
　　第80回CPC（臨床病理検討会）
２月　輸液セミナー
３月　研修医修了式
　　第107回生涯教育・研修医セミナー
　　（全参加者数53人）

○低侵襲トレーニングセンター講習会実績
　実施回数：16回
　参加者数：64名（内訳：院内研修医：28名，
　院外研修医５名，医員22名，学生：９名）
○遠隔診療トレーニングセンター講習会実績
　実施回数：11回
　参加者数：66名（院内研修医：19名，院外研修
　　医：３名，学生４名，地域医師40名）

５．地域医療への貢献

臨床研修医は、熊本大学病院各診療科、及び熊本大学病院群に参加する各施設（協力型臨床研修病院65施設、臨床研修協力施設９施設）で初期研修を行い、遠隔地、僻地等の地域医療において研修協力を行なっている。また、熊本県内外地域病院の初期臨床研修基幹プログラムを支援し、本院を６病院（荒尾市立有明医療センター、くまもと県北病院、水俣市立総合医療センター、天草地域医療センター、熊本総合病院、宮崎県立延岡病院）の協力施設として登録し、令和６年度には12名の研修医を受け入れた。また、熊本県出身の自治医大卒業生を臨床研修医として採用し、将来の地域医療貢献を目指す初期研修を行っている。

６．医療人教育の取組み

生涯教育・研修医セミナー（年６回開催、e-learning 配信）
心肺蘇生法講習会（JMECCを含む）
CPC（臨床病理検討会）（年２回開催）
輸液セミナー（研修医向けに開催）
医療情報検索ツール「UptoDate」の提供